



カルテ：

署名欄さん

ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N 「次の方どうぞ～」

患者 「おはようございます。私は結婚式で使われる宣誓書の署名欄です。なぜだかいつも書き間違えられてしまい、こんな重要な場なのに！と騒ぎになるんです」

Dr. N 「ちょっと診せてください」

患者 「はいどうぞ (図1)」

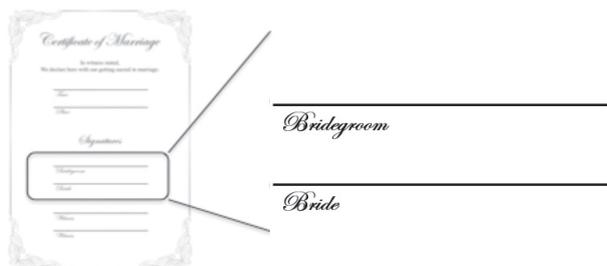


図1 新郎の署名はどこにする？

Dr. N 「全部英語ですが、日本の結婚式場ですよね？」

患者 「はい。本場の雰囲気を味わって貰おうと思ひまして、英語にしています！」

Dr. N 「なるほど。で、どういう問題があるのでしょうか？」

患者 「いつも新郎が新婦の欄に署名してしまうんです。大切な書類なので二重線で消すわけにもいかず、毎回取り替えるはめになる上に、大事な場面で新郎に恥ずかしい思いをさせてしまうので、大変心苦しいのですが・・・」

Dr. N 「この書式はどこからもってきたんですか？」

患者 「アメリカで標準的に使われているものをそのまま使っています。現地ではトラブルになったとは聞いていないので、書式に問題は無いと思うのですが・・・」

Dr. N 「あ～なるほど。線の下に項目名があり、線の上に記入するこの書式は、タイプライター文化から来たもので、アメリカでは一般的ですが、日本人にはなじみがありません。一方、日本だと枠線で囲まれた記入方法が一般的なので、これを見たユーザーは、2本の横線で囲まれた空間（しかも「Bridegroom（新郎）」という注釈つき）が記入欄だと思ってしまいます。これはインタフェースの良し悪しというより、むしろ文化的な違いなのですが、ここは日本で

すよ。日本人に記入を求めるものについては、日本人がわかりやすい書式にしなきゃいけません」

患者 「そうでしたか…。で、どうすれば良いんでしょうか？四角い枠で囲めば間違いは無くなると思うのですが、ちょっと見栄えが・・・」

Dr. N 「例えば、項目名を線の横や右上に移動して、線と線の間を少し開ければ、線の上には書けば良いことがわかりやすくなりますね (図2)」

*Bridegroom*

*Bride*

図2 これで新郎も怒られない

患者 「なるほど。これなら新郎の方が署名に失敗して奥様から怒られることも無くなりそうです」

Dr. N 「結婚式は人生の大事なイベントのひとつなので、間違いが発生しないようにデザインしておくことは大事です。ちなみに、この「線の上を書く」というスタイルは、世界的に見てもあまり一般的では無いようで、トラブルの原因となることもあるようです。有名どころだと、第二次世界大戦のポツダム宣言への署名ミスがありますね。ちょっとこちらを見て下さい\*1 (図3)」

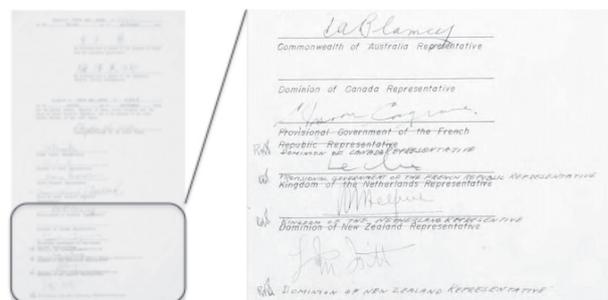


図3 ポツダム宣言の受託宣誓書。下が何やらごちゃごちゃしていますが・・・

\*1 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000094983.pdf>

**患者**「一箇所署名漏れがありますね。誰か欠席でもしたんでしょうか？」

**Dr. N**「これはポツダム宣言受諾の為の書類ですので、欠席はありません。少し見づらいですが、下側に注目して下さい(図3右)」

**患者**「記入欄の項目名に取り消し線が入っている上に、手書きで項目名が書き換えられていますね。大事な書類の割にずいぶんお粗末なような…」

**Dr. N**「そうですね。これは、カナダ代表の方が本来自身が署名するべきところでは無く、下の段(フランス代表)のところに署名してしまったんです。その後、フランス代表はオランダ代表のところに、オランダ代表はニュージーランド代表のところに署名してしまい、結果的にニュージーランド代表の署名欄が無くなってしまいました。この時はオランダ代表の方が問題に気づいて指摘し、日本代表も再度作成を掛け合っただのですが、既に祝賀会も始まっていたこともあって拒否されたのだとか。で、結果的にサザラード中将がマッカーサー元帥の指示に従い、項目名を手書き修正したものが、今でも残っているというわけです」

**患者**「うわあ、それは大変ですね。」

**Dr. N**「これほどでは無いものの、結婚式の署名を間違えると後々まで恥ずかしい思いをすることになるので、気をつけてくださいね。私も今だに言われて…」

**患者**「先生、ひょっとして…」

**Dr. N**「え？ あ、一般論ですよ一般論、ははは…」

今回の症例はいかがでしたか？読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください(下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません)。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr.ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



**担当医: Dr. ナカムラ**

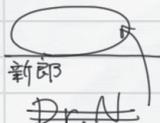
BADUI 蒐集家。

日々新たなBADUIとの出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

捕獲した貴重な品々は「楽しいBADUIの世界」<http://badui.org/>にて公開中。

**Dr. トモクワのUIトリビア**

文化的な違いは、年月日の記入方法にも見られる。日本では「年/月/日」だが、英国では「日/月/年」の順、更にアメリカでは「月/日/年」になる。特に困るのは2/4/2016と書かれていた場合、2月4日なのか4月2日なのかわからなくなることじゃ(混乱を避ける為に“Feb. 4, 2016”と書くことも多いが、表記が複雑になる)。

診療カルテ		2016.3.5
ID	BADUI-017	
氏名	署名欄さん	
原因・主要症状・経過など	署名する場所がわかりづらく間違、署名される。 ここに記入が正解 線により強く 新郎 グループ化が ここに記入と勘違い!! 働いてしまう	アメリカで使われている書式をそのまま使っているため、署名どミスが多発!! (新郎が新婦の欄に記入してしま...)  「この線が」 囲まれていると 勘違いしてしまう... 新婦
処方・手術・処置など	新郎 _____ 新婦 _____ というわかりやすい形式に修正。	項目名と記入場所を示す線の可視性には問題あり!! 処置のよう修正! 間違いが許せぬような場のUIは慎重に!! 中村 聡史(明治大学)